

「歴史総合」をめぐる

開会挨拶：高埜利彦 学習院大学教授 日本学術会議会員
趣旨説明：君島和彦 東京学芸大学名誉教授 日本学術会議連携会員
日本歴史学協会歴史教育特別委員会
司会： 中野聡 一橋大学教授 日本学術会議連携会員 / 君島和彦

油井大三郎（一橋大学・東京大学名誉教授）

暗記中心の歴史教育からの脱却—「歴史総合」新設を契機として—

近藤孝弘（早稲田大学教授 日本学術会議連携会員）

「歴史総合」の課題をドイツから考える—
カリキュラム改革の差異をめぐって—

西村嘉高（青山学院高等部教員）

「歴史総合」のカリキュラム案—青山学院
高等部での実践を踏まえて—

閉会挨拶：木村茂光 帝京大学教授 日本歴史学協会委員長 日本学術会議連携会員

次期の学習指導要領において、高校における世界史必修を見直し、近現代史分野を中心に日本史と世界史を融合させた「歴史総合」を新たに必修科目として設けることが示されようとしている。日本の歴史教育におけるこの大きな転機を前にして、今日に至るまでの議論を振り返るとともに、来たるべき「歴史総合」の望ましいあり方について議論する。

日時：2016年10月22日 13:30-17:30pm

場所：駒澤大学駒沢キャンパス1号館 1-204教場

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会高校歴史教育分科会